

楽しいオーケストラ in 岩手

日本フィルと子どもたちの夢舞台



第1部

オーケストラ!

- ◆ エルガー 《威風堂々》第1番
- ◆ パッヘルベルのカノン
- ◆ ハチャトゥリアン 《剣の舞》

第2部

あこがれのピアノ!

- ◆ モーツァルト 《トルコ行進曲》
- ◆ ショパン 《別れの曲》
- ◆ チャイコフスキー (上原彩子編曲) 「花のワルツ」
- ◆ ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第5番《皇帝》第1楽章

出演

指揮: 大井 剛史

ピアノ: 上原 彩子

お話とうた: 江原 陽子

管弦楽:

日本フィルハーモニー交響楽団

第3部

ゲストコーナー

- ◆ 夏井大梵天神楽 (久慈市立夏井中学校)
- ◆ 滝沢市立滝沢中央小学校 特設合唱部

第4部

みんなでいっしょに♪

- ◆ さんぽ
- ◆ 赤とんぼ
- ◆ 勇気100%



2023年8月2日(水)

午後3時開演 [午後2時15分開場]

トーサイクラシックホール岩手 大ホール (岩手県民会館)

料金 [全席指定・消費税込]

大人: 3,000円 子供: 1,500円 (4歳~高校生以下)

※4歳未満は入場できません。チケットはお一人一枚ご用意ください。

※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆主催: 東北の夢プロジェクトin岩手 実行委員会
(日本フィルハーモニー交響楽団、岩手県、岩手日報社、岩手県芸術文化協会)

◆共催: IBC岩手放送

◆後援: 復興庁、岩手県文化振興事業団、岩手県教育委員会、久慈市教育委員会、
滝沢市教育委員会

◆協賛: 全国保証株式会社

◆協力: 岩手県合唱連盟、岩手銀行、杉並区

お問い合わせ

岩手日報社事業部

019-653-4121 (平日 9:00~17:00)

感染予防
のご案内



◆プレイガイド

・ローソンチケット
<http://l-tike.com> (Lコード: 22951)

・日本フィルeチケット♪
[席を選んでお申込みできます]
<https://eticket.japanphil.or.jp>

・岩手日報社事業部
・カワトク、アネックスカワトク、フェザン

5月19日金
発売

楽しいオーケストラ in 岩手

東北の子どもたちの「夢」を応援

10年以上にわたり被災地に音楽を届け続けてきた日本フィルと、東北地方で続く郷土芸能や子どもたちの文化活動がひとつのステージに！オーケストラとピアノが織りなす豊かな音色、子どもたちの真剣な眼差し、そしてみんなの笑顔が輝く夏の“夢舞台”にどうぞご期待ください。



《指揮》大井 剛史 OOI Takeshi

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。若杉弘、岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメティ、カラブチェフスキーの各氏から指導を受ける。東京藝術大学指揮科を卒業後、1999年同大学院指揮専攻修了。1996年安宅賞受賞。2000～01年、仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者として研鑽を積み、2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。2009～16年までニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（現・千葉交響楽団）常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーと誠実な指揮でいづれも高い評価を得ている。新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



《ピアノ》上原 彩子 UEHARA Ayako

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに国内外での演奏活動を行ない、ヤノフスキ、ノセダ、ルイージ、ラザレフ、ブラビンス、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。2004年12月にはデュett指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより『上原彩子のくすみ割り人形』『ラフマニノフ13の前奏曲』『上原彩子のモーツァルト&チャイコフスキー』『デビュー20周年記念コンサート・ライブ盤』がリリースされている。東京藝術大学音楽学部早期教育リサーチセンター准教授。令和4年度文化庁長官表彰受賞。
＜オフィシャル・ホームページ＞<https://www.japanarts.co.jp/artist/ayakoUEHARA>

《お話とうた》江原 陽子 EBARA Yoko

東京藝術大学声楽科卒業。4歳より公益財団法人ソルフェージュスクールにてピアノを始め、ソルフェージュ、作曲、室内楽等音楽の基礎を同校で学ぶ。大学在学中より4年間、NHK「うたって・ゴー」に歌のおねえさんとしてレギュラー出演。1991年より日本フィルハーモニー交響楽団「夏休みコンサート」に歌と司会で出演する他、東京都響、東京シティ・フィル、仙台フィル、九響等の音楽鑑賞教室やコンサートの司会を務める等、クラシックコンサートのナビゲーターとしても活躍している。親子で穏やかなひとときを、絵本読み聞かせコンサートも各地で開催。洗足学園音楽大学教授／(公財)ソルフェージュスクール講師



《ゲスト》夏井大梵天神楽(久慈市立夏井中学校)

滝沢市立滝沢中央小学校 特設合唱部



大梵天神を主祭神として文和3年南北朝時代以来、山伏修験者により夏井町大宝院に於いて舞い継がれてきた神楽。1978年に夏井大梵天神楽保存会を組織、後継者の育成に努め、夏井中学校の生徒が伝承に取組む。岩手県指定無形民俗文化財。



2018年に「合唱の響き合う学校」を特色の一つに位置づけ開校した新しい学校。特設合唱部はその4月から活動を始めた。4～6年生までの歌を愛する仲間が集まり、日々練習に取り組んでいる。

日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月に故渡邊暁雄を中心に創立。「オーケストラ・コンサート」「リージョナル・アクティビティ」「エデュケーション・プログラム」という三つの柱で活動を行っている。首席指揮者ピエタリ・インキネン、首席客演指揮者カーチン・ウォン（2023年9月から首席指揮者）、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一という充実した指揮者陣を中心に演奏会を行い、「音楽を通して文化を発信」している。東日本大震災の被災地に音楽を届ける「被災地に音楽を」を2011年4月より開始、2022年末には320回を超えている。その活動が高い評価を受け、2022年第16回後藤新平賞を受賞。「温かさ」「人に寄り添う」の土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。ホームページ <https://japanphil.or.jp>

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号 TEL:019-624-1171 <http://www.iwate-kenmin.jp/>